

## 第 13 回新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナー

### テーマ：高活性と高耐久性を両立する触媒を目指して (VI)

#### 1. 趣旨概要

触媒学会燃料電池関連触媒研究会では燃料電池に関連した触媒技術を研究対象とし、高活性/高耐久性触媒、低コスト化を含めた触媒合成法、触媒の反応機構と基礎物性、評価/解析技術等、燃料電池用触媒に関する学術情報交換を行っています。新電極触媒シンポジウム&宿泊セミナーでは燃料電池用電極触媒に関する最近の研究開発状況と今後の展開について講演頂くと同時に、ナイトセッションでは参加者が親しく情報交換するのが大きな特色です。したがって、あらゆる分野からの参加者を歓迎いたします。2030 年度以降の FCV 仕様に関し、昨年、課題共有フォーラムが開催され、日本における FCV の真の実用化に向けた新しい取り組みが開始されました。この新たな目標仕様に対し、触媒の高活性化と高耐久化を同時に達成することは前例がない取り組みであり、触媒材料に関わる研究開発者は自らその道を切り開いていく必要があります、その責任の重要性を感じております。

さて第 13 回宿泊セミナーでは早稲田大学の関根先生から「海外と日本の水素社会に向けた取り組み」、日立ハイテクノロジーの矢口氏から「雰囲気制御 TEM を用いた Pt 系触媒のその場観察」、日清紡 HD の岸本氏から「非 Pt 系炭素担体に担持した Pt 系触媒の酸素還元活性」、東北大学の徳増先生から「MO を用いた MEA で生じる物質拡散現象の解析」、日産アークの今井氏から「燃料電池部材の分析事例」、東京大学の杉野先生から「燃料電池反応がなぜ白金で高効率で起こるのか」および AGC 株式会社の平居氏から「次世代 PEFC に向けたフッ素系電解質材料の研究開発」と題して講演して頂きます。ポスターセッションでは電極触媒に限定せず、燃料電池に関連する研究を広く募集します。学生の方には優秀ポスター賞を用意しておりますので、奮ってご参加ください。

主催(予定): 触媒学会 (燃料電池関連触媒研究会), 燃料電池開発情報センター, FC 懇談会  
協賛(予定): 日本表面真空学会, 大阪科学技術センター, 電池技術委員会, 水素エネルギー協会  
シンポジウム&宿泊セミナー準備委員会: 燃料電池関連触媒研究会世話人有志

#### 2. 開催日時と会場

- 日時: 2020 年 10 月 23 日 (金) 13:00~2020 年 10 月 24 日 (土) 12:00
- 会場: 〒411-0032 静岡県三島市末広町 21-9 東レ総合研修センター TEL: 055-980-0333  
<https://plus.google.com/116295045839993185703/about?gl=jp&hl=ja>

#### 3. 参加申し込み

- 参加申し込みとポスター発表申し込み締め切り: **10 月 2 日 (金) 17:00**
- 発表要旨の締め切り: **10 月 9 日 (金) 17:00 (要旨集の印刷ができなくなりますので厳守願います)**  
A4 用紙 1 枚にフリーフォーマットでタイトルと所属を明記の上、下記大門までメールで送付してください。
- 参加費 (内税): 一般会員 18,000 円, 一般非会員 25,000 円, 学生 3,000 円, **当日現金払い**, 領収書お渡し
- 宿泊費: 7,000 円 (夕食・朝食込み, 宿泊施設は研修センター内にあります), **当日現金払い**, 領収書お渡し
- 参加申し込み方法と問合せ先  
氏名, 所属, 連絡先 (住所, 電話番号, メールアドレス), 宿泊の有無およびポスター発表の有無を明記の上, 下記大門までメールでお申し込みください。ご質問等も, 大門までお願いいたします。

同志社大学 大門メールアドレス: [rs-dh21@mail.doshisha.ac.jp](mailto:rs-dh21@mail.doshisha.ac.jp)

電話番号: 090-4749-6596

#### 4. セミナー内容

##### ◇ 1 日目 10/23 (金)

- 13:00～13:10 開会の辞
- ・セッション I 招待講演 (研修棟 2 階「大研修室」)
  - 13:10～14:10 海外と日本の水素社会に向けた取り組み (早稲田大学 関根 泰先生)
  - 14:10～15:10 雰囲気制御 TEM を用いた Pt 系触媒のその場観察 (日立ハイテクノロジーズ 矢口 紀恵氏)
  - 15:10～15:30 休憩
  - 15:30～16:30 非 Pt 系炭素担体に担持した Pt 系触媒の酸素還元活性 (日清紡 HD 岸本 武亮氏)
  - 16:30～17:30 MO を用いた MEA で生じる物質拡散現象の解析 (東北大学 徳増 崇先生)
  - 17:30～18:30 夕食 (ダイニング棟 2 階)
- ・セッション II ポスター発表 (センター棟 2 階「多機能室」)
  - 18:30～20:30 ポスターセッション
  - 20:30～22:30 自由討議

##### ◇ 2 日目 10/24 (土)

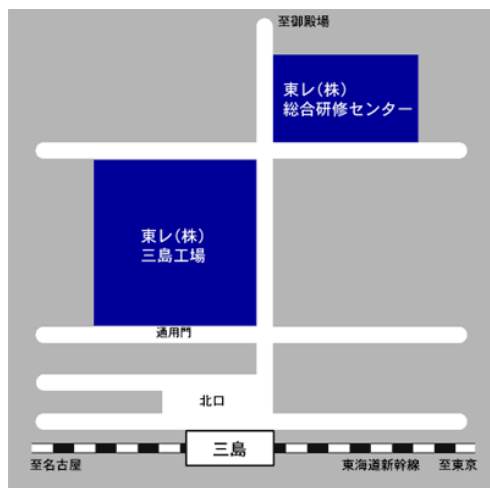
- 7:30～8:30 朝食 (ダイニング棟 2 階)
- ・セッション III : 招待講演 (研修棟 2 階「大研修室」)
  - 8:30～9:30 燃料電池部材の分析事例 (日産アーク 今井 英人氏)
  - 9:30～10:30 燃料電池反応がなぜ白金で高効率で起こるのか (東京大学 杉野 修先生)
  - 10:30～10:50 休憩
  - 10:50～11:50 次世代 PEFC に向けたフッ素系電解質材料の研究開発 (AGC 株式会社 平居 丈嗣氏)
  - 11:50～12:00 閉会の辞

#### 5. 東レ総合研修センターへのアクセス

〒411-0032 静岡県三島市末広町 21-9 TEL: 055-980-0333

JR 三島駅北口より徒歩 12 分 タクシーでワンメーター

<https://plus.google.com/116295045839993185703/about?gl=jp&hl=ja>



2020年10月23日～24日、東レ総合研修センターでの第13回宿泊セミナーの開催に向け、企画準備を進めております。緊急事態宣言が解除されましたが、今後の感染者数の推移には予断を許さない状況にあります。

開催まで五カ月を切ったところですが、これまでと同様な形での宿泊セミナーの開催は、現段階において確約される状況にあるとは言えません。今後の国内での感染状況による国および地方自治団体からの指示に従い、やむなく、開催を断念する可能性があることを、参加を予定されている皆様にご理解いただきたいと思っております。関係者の皆様にはご迷惑をおかけすると思っておりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

触媒学会 燃料電池関連触媒研究会

世話人代表 同志社大学

大門 英夫